



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021～2022年度

滝川ロータリークラブ

会長 坂本 和繁

- 例会日：毎週木曜 PM12:30より
- 例会場：ホテル三浦華園
- 住 所：滝川市花月町1-2-26
- 電 話：(0125)-22-3344
- F A X：(0125)-24-2755
- メール：info@rotary.gr.jp
- WebSite：www.rotary.gr.jp

第3294回 例会報告 令和4年6月2日（木）

会長挨拶



本日は皆様にご協力を頂いたアンケートの結果について少しお話をしたいと思います。アンケートは4項目でございまして、54名の会員の皆様から回答いただきました。

1) 人口減少の中での会員数について - 地域の人口減少と高齢化で、会員数の減少も予想される中、会員数の考え方について妥当と思うものを選択してください。に対し、最も多い選択は、人口が減少している中、会員減少、活動規模縮小は仕方がない30人でした。奉仕活動維持のために会員数はできるだけ維持すべきであるという選択も25人と多いです。

2) 会員拡大と会費会員拡大と会費について - 妥当と思うものを選択してください。に対し、現状の会費のまま会員拡大の努力をすべきが39人で大多数でした。会費を下げて会員拡大のという選択は11名と少数でした。

3) 会員数減と奉仕予算 - 仮に会員数が減少した場合、奉仕活動の予算も減少すると思われそうですが、対応策として妥当と思うものを選択してください。①例会数を減らすなどして、できるだけ予算を確保すべき14人 ・ ②会費の値上げをして、できるだけ予算を確保すべき1人 ・ ③上記①と②をバランスよくミックスし、できるだけ予算を確保すべき14人 ・ ④会員が減少した場合、奉仕活動の予算規模も縮小すべき23人となっており、①～③まではできるだけ予算を確保すべきとなっており、合計すると④の23人より多いのです。

4) 広くクラブを知ってもらうために - 広くクラブを知ってもらうこと、また、将来の会員確保策として良いと思うものを選択してください(複数可)に対し、①奉仕活動に協力していただく組織(ローターアクト含む)を学校などに設置7人 ・ ②例会や奉仕活動へのお試し参加18人 ・ ③奉仕活動への市民参加制度を設ける25人 ・ ④滝川IRCの冠事業やチャリティ(スポーツ及び文化、奉仕イベント等)の継続実施33人 ・ ⑤他の奉仕団体等との交流・連携16人という結果でした。この質問のみ複数選択可としていますが、冠事業やチャリティの継続実施の選択が多くなっており、それほど多くはありませんが②③も選択されています。

2回開催した未来ビジョン会議の議事録を次年度に申し送りさせていただき、次年度以降の取り扱いにつきましては次年度以降の皆様にご委ねられることになろうかと思えます。アンケートにご協力いただきました会員の皆様にお礼申し上げます。

幹事報告



1. 赤平RCより例会会報が届いております。また留萌RCより例会プログラムが届いております。

2. 事業寄付金の受付は6月9日の例会で本年度の受付は終了いたしますのでご寄付ご希望の方は6月9日の例会終了時までにお願致します。

3. 今月のロータリーレートは1ドル127円です。

4. 例会のお食事のロス無くすために例会を欠席される場合は必ず事務局にFAXまたは滝川ロータリークラブホームページよりご連絡をお願いします。

5. 静内RCより創立50周年記念誌が届いております。

委員会報告 (青少年奉仕委員会)

青少年奉仕委員会では、ひとり親世帯に図書券を配布する事業を行いましたが、この度、全ての配布が終了したとの連絡を頂きました。410枚贈呈して、387枚配布され、残りの23枚が市立図書館用の図書購入の費用に充てられました。

＼(^o^)／ニコニコBOX報告 (敬称略)

坂本和繁・向井由延・熊谷美由紀・奥山かおる・藤井謙和
入井浩樹・安達晃幸・山田直登・鎌仲政光・池田吉隆
<小計24,000円・合計918,000円>

- ゲスト： 一般社団法人滝川国際交流協会
会長 水口典一様 ・ 事務局長 森田詠美様
参与 阿部孝志様

編集/クラブ会報委員会 発行日：令和4年06月02日

前回のプログラム [講師卓話] - 滝川国際交流協会の活動 - 【国際奉仕委員会担当例会】



滝川国際交流協会

会長 水口 典一 様

1990年10月に設立された滝川国際交流協会の活動について、会長である水口様よりお話を頂きました。主だった事業として、ジュニア大使や市民訪問団の派遣などの交流事業、また、JICAと連携した技術研修員の受入れや途上国支援などが行われており、スプリングフィールドとの高校生の交流やモンゴルの地方農民の収入向上を目指した支援などを詳しくご説明頂きました。現在、コロナ禍において交流事業はオンライン化が余儀なくされているようですが、農業支援は引き続き行っていられるようです。

出席報告 6月2日

会員数	病欠	免除	出席	欠席	出席率
86名	0名	6名	48名	38名	60%

【今週の寄付】 (敬称略)

◆米山： 丹芳男・田端千裕・西田浩二・宮崎英彰・米倉慎一
<小計66,000円・合計1,084,000円>

◆財団： 丹芳男・神部志乃信
<小計38,550円・合計1,166,900円>